昭和57年　第818号
10月31日

市報 にいがた

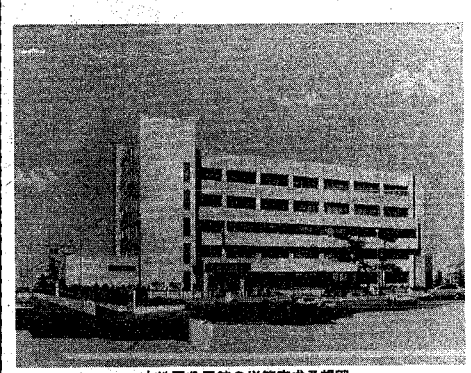
市の人口
前月比
人口 458,302(+192)
男 224,617(+117)
女 233,685(+ 75)
世帯数 147,161(+ 42)
57年9月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町
866
電話代表(28)1000
編集人 二宮省三
(担当企画部広報課)
印刷所 ㈱第一印刷所

増築工事始まる
中地区公民館
4、5階を建て増し

ホールは他地区公民館規模に

古川町にある中地区公民館で、主にホールなどを設ける増築工事がこのほど始まりました。同工事はこれまでの三階建て建物に四、五階部分を増築し、公民館の整備・充実を図るもの。工事は二カ年度継続で、完成は五十八年五月末の予定。六月から使えるようになります。


中地区公民館の増築完成予想図

中地区公民館は昭和五十二年に新築されましたが、地区公民館の中にあって唯一ホールを持たない施設です。また同地区には大きな集会場用施設もありません。

こうしたことから、地区住民の要望に応え、ホールを新設するとともに、社会教育講座の充実を図ろうと増築工事が行われたものです。

増築工事は二カ年度継続で総事業費は約三億九百万円の予定。四、五階の増築部分は鉄骨造り。ホールのほか、美術工作室、音楽講座室、資料室、二講座室などが新たに設けられます。

公民館のある建物は現在三階建てで、一階が地区事務所、二階が主に山ノ下図書館、そして二階の一部と三階が公民館として使われています。

増築後は、三階から五階までを公民館として使うことになり、公民館占有面積は約二、四七二平方㍍と、従前に比べ約八七七平方㍍の増床となります。

完成は来年五月末の予定。三階には調理実習室、和室が、四階には六講座室、資料室、集会室兼保育室、クラブロッカー室が、また五階にはホール、美術工作室、音楽講座室が配置されます。

今回の増築の中心となるホールは床面積約一七二平方㍍で、今後、地区住民が集会や音楽会、発表会などの大きな催し物を開けるようになります。

昭和五十六年度の中地区公民館利用者は延べ三万九千十六人。このうち社会教育事業への参加者が三万一千六百五人。中地区管内の一、二人に一人が同公民館を利用していますが、増築による施設の充実で、さらに地区の皆さんの活動の活発化が期待されます。

他の地区公民館と同規模程度の施設となります。

一階は、連絡所、図書室、会議室が入ります。二階は公民館になり、大ホール（百五十七平方㍍）、調理実習室、和室（三十畳）が出来、中野小屋地区の皆さんの地域活動の場として利用できます。

現庁舎の建物は、昭和三十四年に建てられた木造もの。老朽化が進んでいました。

工事は、明日から現庁舎の解体工事が始まり、来年十月には、モダンな建物に生まれ変わることになります。

中野小屋連絡所
明日から改築工事始まる
来年10月完成

老朽化のため全面改築される中野小屋連絡所の工事が、明日十一月一日から始まります。来年三月には、公民館、図書館も備えたモダンな建物に生まれ変わります。

新しい中野小屋連絡所の建物は、鉄筋コンクリート造二階建て、総面積約七百五十平方㍍、総工事費は約一億七千八百万円です。

中野小屋中に仮連絡所

なお、工事に伴い、連絡所の取り扱い事務は、十一月一日から、中野小屋中学校史料室（中野小屋九二一）で行うことになります。ご協力をお願いします。

第14回市展

会期　十一月十八日（二十三日（二十二日休館）
会場　県美術博物館、県民会館展示ホール
部門　洋画、日本画、書道、彫刻、工芸、版画、写真
入場料　無料
◉作品搬入受付　十一月十六日午前十時～午後三時、展覧会場で
◉出品料　一点千円（一人二点まで。ただし写真のみ三点）
◉問い合わせ　市社会教育課（☎25―一〇〇〇、内線二四）

当世にいがた横丁　～おわり～

おふくろの味笹だんご
食べ物―④―

ふるさとの味、おふくろの味、笹だんご。新潟名物は笹だんごなくしては語れない。

アンコをよもぎ餅でくるんだ、その緑色も鮮やかに、形はあくまで素朴、ひと口、ふた口…そのおいしさは口いっぱいに広がってゆく。

若葉の緑が目に痛い陽春うららかな五月。山野に伸びるよもぎの若葉を摘んでゆでる。それを絞って干す。そしてモチ米をついたものと一緒にしてこねる。このよもぎ餅にアンコを入れる。何と言っても味の決め手は「よもぎ餅とアンコの微妙な配合にある」（市餅業支部副支部長、石井広雄さん）。

戦前までは家庭で作ることがポピュラーであった。端午の節句のころ、黒光りする台所の板の間で、作業を進める母親。きりりとかけたタスキの白さに、子供のころの記憶を甦らす人も多いであろう。

母に手伝い、よもぎだんごを笹で巻き、いくつで結んでいくつかに束ねる。「昔は何十、何百とだんごをつるし、五日も六日も食べたもの」と本間綾次郎さん（県菓子工業組合理事長）。

いつしか、都市化の波が笹の葉とよもぎの人手を困難にし、今ではお家庭で作ることも少なくなった。そして季節感が失われてゆく現在、笹だんごも餅屋さんの通年生産となったが、その素朴さとうまさは賞々と今も受け継がれている。

笹だんごの由来は審らかではない。戦国時代の携帯食説。また、平安時代、唐の国から米を加工する製法が伝わり、生活の智恵から食生活に結びついた―という説。

いずれにせよ、郷土色豊かなよもぎだんごとして代々母から子へと家庭で伝えられた。その野趣あふれる美味は老若男女に愛されている。

「東京や北海道からのお客さんにはどうしてもお土産として笹だんごを持たせます」と田中孝さん（学校町）。新潟を離れた人に「郷愁」を運んでくれる。まさに笹だんごは新潟が誇る食べ物の代表格である。

もう一つ、粽（ちまき）も忘れられない。篠で皿に菓子の製造が始まった。城下町でなかったせいか、江戸時代末までにはこれといったお菓子もなかったが、「先人の努力でおいしくてよいお菓子が作られるようになった」（本間綾次郎さん）。

「最近は味が淡泊で甘さを押え、小型化が目立つ傾向にある。冠婚葬祭には引き出物として愛される。新潟市はお菓子なしでは語れませんよ」（同）。

いつの時代も人々の口に親しむお菓子。その甘さと一服のお茶は、えも言えぬやすらぎを与えてくれる。

数々の味を誇る新潟。四季折々の味に、新潟に住んでいて本当によかった。そんな実感が湧いてくる。

◇　◇　◇

七月から十六回にわたって連載を続けた「当世にいがた横丁」は今回をもって終わらせて頂きます。読後のご意見、ご感想を市広報課までお寄せ下さい。

素朴さが若い女の子にも愛される笹だんご

善意の寄付

社会福祉のために
▼新潟リサイクルセンター（山木戸）▼結城運次郎（近江）▼新潟第一高等学校生徒会▼ホテル新潟▼増村早容（青山新町）▼稲野佐和子（青山新町）▼新潟城山会（東大通一）▼江南高校生徒会

新潟厚生年金会館老人コーナー休館します

期間　改修工事のため11月1日から来年3月9日まで休館します。

年金パネル展と社会保険移動相談所
～年金パネル展～

期間　11月2日～7日
会場　新潟三越
～社会保険移動相談所・健康相談コーナー～
日時　11月3、4日午前10時～午後3時
※3日午後1時半から歌手・村上幸子の1日相談所長コーナーも開設。

10月10日から新潟県最低賃金が改正

1日3,053円（時間給382円）
問い合わせ　新潟労働基準監督署へ

体力向上に
トレーニングセンターへ
（市陸上競技場内）

◉11月の新規受付日（対象は高校生以上）
定例受付日　男子…9、15、25日
女子…2、10、16、26日
受付時間　午後3時半と午後5時半
指導時間　午後4時と午後6時
◎特設受付日　6日（19歳以上の男女）

	受付時間	指導時間
男子	午後2時半	午後3時
女子	午後零時半	午後1時

使用料　19歳未満月150円、19歳以上月600円
持参品　印鑑、運動着と靴（当日簡単な体力測定を行います）

読書会案内
―沼垂図書館会場―

テーマ図書をお読みのうえ参加を
◇夜の読書会
日時　11月10日午後6時～8時
テーマ図書　丹羽文雄著「有情」（集英社文庫）
◇10時の読書会
日時　11月20日午前10～正午
テーマ図書　吉行淳之介著「夕暮まで」（新潮文庫）
問い合わせ　沼垂図書館（☎41―4111）へ

講演
日米関係～経済問題を中心に～

日時　11月4日午後5時～6時半
会場　イウィリアム・ピーズ米国大使館経済担当公使
講師
問い合わせ　新潟日米協会（☎67―2311）へ

おもな目次

西堀ローサで消防訓練　（二面）
漬け物の試買調査　（三面）
老人福祉大会開かれる　（四面）

第九回現代新潟風景画展
―ふるさとの画家、ふるさとを描く―

期間　十一月二十八日まで
会場　郷土資料館（緑町、☎28―三二五九）
内容　市内在住で現在活躍中の洋画家の出品による、新潟現代風景画展です。